

生涯教育研修会報告書  
臨床化学免疫血清検査研究班

1)【研修会】臨床化学免疫血清検査研修会 [学13-029]

日時: 2013年8月25日(日) 8:30~17:10  
会場: アークレイ株式会社 京都研究所  
演題1: 「臨床検査室のQMS向上のために必要な取組み事項」  
講師1: 株式会社CGI 大野紘宇 氏  
演題2: 「自動化法において機器側で異常をみつける仕組み」  
講師2: 日本電子株式会社 古後 富久 氏  
演題3: 「異常値判読(データ確認法と病態推測)」  
講師3: 日本鋼管福山病院 井上悦子 技師  
講師3: 麻植協同病院 藤田望 技師  
講師3: ファルコバイオシステムズ 田野麻奈美 技師  
演題4: 「検査相談のできる臨床検査技師を目指して」  
講師4: ファルコバイオシステムズ総合研究所 藤本 一満 氏  
演題5: 「糖尿病のコントロールマーカーとHbA1cについて」  
講師5: アークレイマーケティング株式会社 東野 功嗣 氏  
演題6: 「甲状腺疾患の診断と検査」  
講師6: シスメックス株式会社 坂井 礼 氏  
演題7: 「結核診断検査T-SPOT検査の性能とデータの読み方」  
講師7: オックスフォード・イムノテック株式会社 中尾 倫孝 氏  
演題8: 特別講演「高齢者の臨床検査値とその読み方」  
講師8: (株)兵庫県登録衛生検査センター 山口 宏茂 先生  
ランチョンセミナー おいでやす京都水族館  
ランチョンセミナー 京都水族館館長 榊原 茂 先生

協賛: 株式会社CGI、日本電子株式会社、アークレイマーケティング株式会社、シスメックス株式会社、オックスフォード・イムノテック株式会社

参加者: 156(会員:121)人

報告者: 後藤 直樹 技師 (京都保健衛生専門学校)

以下、講演内容など

今年度のサマー研修会はスタッフを入れて156名の参加となった。講演内容は以下の通りである。

講演1)「臨床検査室のQMS向上のために必要な取組み事項」

株式会社CGI大野紘宇氏に講演していただきました。QMSとはQuality Management Systemの略でQMSの概念、構築する要件、顧客サービス、PDCAサイクル、SOPについて具体的に説明していただきました。検査室のQMSの構築・運用の取組みについてどうすべきか考えさせられる内容でした。

講演2)「自動化法において機器側で異常をみつける仕組み」

日本電子株式会社の古後富久氏に講演していただきました。現在の自動分析装置は検査システムによって、さまざまなチェック機構が働き、異常値を検出できるようになっている。しかし、100%の検出には至らない。システムでチェックできない部分に関しては技師の目でチェックするしかない。その様な盲点となりえる事例を具体的に挙げていただき、対応策を含めてお話をいただきました。

### 講演3)「異常値判読(データ確認法と病態推測)」

3名のパネラーの方に、実際起こった異常値事例の報告をしていただきました。臨床でも遭遇しやすい事例を紹介していただいたこともあり、データからの疾患・病態推測に役立つ内容となりました。

### 講演4)「検査相談のできる臨床検査技師を目指して」

ファルコバイオシステムズ総合研究所の藤本一満技師に講演していただきました。臨床側からは検査値と病態との乖離、前回値との大きな差、検査の特異性など検査室にさまざまな質問が飛んでくる。その質問に臨床側が満足する対応ができる技師とならなければならない。この様な検査相談のできる臨床検査技師を目指すために、演者が経験した事例を挙げながら説明をしていただきました。

### 講演5)「糖尿病のコントロールマーカーとHbA1cについて」

アークレイマーケティング株式会社の東野功嗣氏に講演していただきました。血糖コントロールマーカーの基本的な説明、HbA1cの国際標準化、測定法、異常値を示す場合の異常分画情報の活用、変異ヘモグロビン、世界のMajorヘモグロビンについて話をさせていただきました。基本的な内容から、変異ヘモグロビンのHPLCによる異常パターンなども示していただき、臨床に直結する内容であった。

### 講演6)「甲状腺疾患の診断と検査」

シスメックス株式会社の坂井礼氏に講演していただきました。甲状腺疾患は症状の多様性から別の疾患と間違われたり、症状に気付かず発見されなかったり潜在性の患者が多く存在するため、患者数は潜伏患者も含めると生活習慣病なみとも言われている。そんな甲状腺疾患の診断に必要な甲状腺ホルモンの基礎、症状、自己抗体(TRAAb、TPOAb、TgAb)、甲状腺疾患の診断の流れ、バセドウ病の診断フロー・ガイドラインなどをお話いただきました。

### 講演7)「結核診断検査T-スポット検査の性能とデータの読み方」

オックスフォード・イムノテック株式会社の中尾倫孝氏に講演していただきました。結核検査はツベルクリン反応がよく使われていたが、ツベルクリン反応はBCG接種患者にも反応することもあり、問題があった。結核感染が疑われるときは、T-スポット検査が実施されることが多い。このT-スポット検査について説明していただきました。この検査は操作が煩雑であるという欠点はあるが、感度97.5%、特異度99.1%と優れた検査である。また、陽性、陰性の判断のつかない判定保留の場合の対応についてもお話いただきました。

### 講演8)特別講演「高齢者の臨床検査値とその読み方」

(株)兵庫県登録衛生検査センターの山口宏茂先生に講演していただきました。臨床検査には基準範囲がある。しかし、この基準範囲は健常成人を対象としており、高齢者には当てはまらないことがある。この高齢者の臨床検査値の読み方について、具体例を示し参加者と一緒に考えていきました。また、高齢者の場合の同じ年齢で施設に入所している方と就業中の方の検査値の比較についてもお話いただきました。

### ランチョンセミナー おいでやす京都水族館

京都水族館の榊原茂館長にお話していただきました。世界の水族館の歴史、イルカの搬送方法、京都水族館の見所などをお話していただきました。京都水族館は内陸部での水族館で、京都に生息している水生生物の展示にも力を入れており、その展示の苦労についても教えていただきました。